

大阪労山の仲間たちの事故事例 増刷しました

1冊 600円+送料, ぜひご購入下さい

大阪府勤労者山岳連盟 理事長 高橋明代

編さん委員会委員長 中川和道

大阪労山の仲間たちの事故事例を1998～2020年にわたって、A4で137ページにまとめました。常任理事会と教育遭対部でつくった編さん委員会が作成し、2021年4月に発行しました。

1. 分析の要点は以下のとおりです。

- (1) 登山道での事故が多い、
- (2) 下山中の事故が多い、
- (3) 登山道下山中の事故は墜落や転落よりも その場での転倒が多い、
- (4) にもかかわらず骨折にまで至っている、
- (5) 登山道下山中の事故は14時頃集中的に起きており、これが全体の事故統計でも「魔の時刻は14時」に対応している可能性がある。
- (6) 道迷いの事故は2%しかない。連盟「山の教室」の読図チームの活躍や各会での読図公開ハイクなどの取組の成果だと思われる。

2. 各山岳会などで、ぜひ、勉強会を開いてください。

講師も、いたします (中川和道 climber-nak@bca.bai.ne.jp)。

3. 1冊 600円。 (大阪労山所属会員は割引します。お問い合わせ下さい)

・希望される方は

氏名/所属会/〒/住所/冊数を

大阪労山事務局・大見 PDC00616@nifty.com までご連絡願います。

折り返し振込先を連絡します。入金が確認できたら発送します。

・緊急事態宣言中ですので郵送のみとなります。

送料は2冊まで198円、3冊以上の場合には別途連絡します。

